令和　8年　10月　9日（金）　安全大会



・本日の議題

①工事の現況と今後の予定（専務）

②各現場状況報告（又は問題点）

③その他

（注）安全大会の時刻は１８：００(集合次第)～１９：００とします。

その後は、自由参加としますので適時解散してください。

議題①：工事の現況と今後の予定

皆さん、お疲れ様です。10月に入り、気温も徐々に下がり、現場での作業がしやすい季節になってきました。

一方で、世間ではインフルエンザなどの感染症も流行しておりますので、皆さんも規則正しい生活や十分な睡眠、身体を冷やさないことなど、日頃から体調管理には十分気を配っていただきたいと思います。

さて、当社の工事受注状況についてですが、10月・11月からは中・大型物件の着工も控えており、これから忙しくなることが予想されます。

しかしながら、依然として建設業界全体では工事物件が減少傾向にあり、同業他社でも物件の確保に苦労しているという話を耳にします。

そのような状況の中、当社が今後も安定的に工事を受注し続けていくためには、まず何よりも無事故・無災害で工事を完了させることが重要です。

さて、本日の安全大会では、工事着工時や外構解体工事などで発生する恐れのある、電気・ガス・水道などのライフラインの誤切断事故防止についてお話ししたいと思います。

特に外構解体工事では、重機による掘削やコンクリートの撤去作業中に、地中の電線やガス管、水道管などを誤って損傷させてしまう危険性があります。

万が一、通電中の電線を切断すれば、感電やアークによる火傷、火災などの重大事故につながる恐れがあります。

また、ガス管を損傷させればガス漏れによる火災や爆発、水道管を損傷させれば漏水や周辺施設への断水など、現場の外にまで大きな影響を及ぼす可能性があります。

こうした事故を未然に防ぐためには、責任者は着工前や着工時の段階で図面や現地状況を確認し、必要に応じて関係事業者への照会や試掘などを実施し、ライフラインの位置や使用状況を正確に把握することが重要です。

また、撤去済み・停止済みと聞いている設備であっても、「止まっているはず」「もう使われていないだろう」という思い込みで作業を進めないことを徹底してください。

特に、使用状況が不明な電線や配管が発見された場合には、必ず一度作業を停止し、現場責任者へ報告したうえで、関係事業者や有資格者などによる安全確認を行い、安全が確認されてから作業を再開するようにしてください。

そして、これは現場責任者だけの問題ではありません。

実際に重機を操作するオペレーターや手元作業員を含め、現場に携わる全員が危険箇所を把握し、作業前の打合せやKY活動を通じて情報を共有することが重要です。

「分からないものには手を出さない」「不安があれば作業を止めて確認する」

この基本動作を一人ひとりが徹底することで、防げる事故は数多くあります。

これから年末に向けて工事の着工が増え、現場が忙しくなることも予想されますが、どれだけ工程が厳しい状況であっても、安全確認を省略することがあってはなりません。

一つの事故が、作業員の命や健康を脅かすだけでなく、工事の中断やお客様からの信用の失墜につながり、今後の受注にも大きな影響を与えることを忘れないでください。

安全で、きれいで、品質の高い現場をつくることが、結果としてお客様からの信頼につながり、次の仕事につながっていくものだと私は考えています。

今後も社員・協力会社の皆さんと一丸となり、無事故・無災害で、誰もが安心して働ける現場づくりを目指していきたいと思います。

ご 安 全 に

10月の玉掛ワイヤーの点検色は… 黄 **です。** **10月1日** **一斉点検(LINEで点検写真アップ)**

※　当社としての基本的心得　※

1．ヘルメット・ハーネス・安全靴等作業に適した保護具適正使用の徹底に努める「基本は毎日習慣に」
2．場内の重機作業エリアとの区画整備・安全通路区画整備の徹底に努める「重機接触は即死亡災害」
3．場内及び現場周辺道路等の清掃を定期的に行い美化に努める「きれいな現場では事故は起きない」
4．壁倒し後のガラ受けや犬走の掃除を毎度忘れずに「そのまま噛んだら足場や近隣様所有物を破損してしまう」
5．現場内無線連携(段取り・合図・居場所確認)の確立化を徹底する「見えないところも見える」
6．高所作業時、ハーネスの２丁掛の意味についてもう一度考えてみよう「掛替時に災害に隙を与えない」
7．直近上位や元請様に、年齢関係なく親切丁寧な会話を誠意をもって対話する「良心は巡って帰ってくる」
8．ご近隣様へ、日頃から騒音振動など迷惑を掛けいるという意識を持ち、挨拶や清掃で気持ちを返す「気持ちは伝わ
9．重機配管カバーは全部取付できているか？「今一度確認！」※破裂飛散 → 車、家等付着 → 清掃処置(損失大)
10. 解体工事を行う上で必要な設備・資機材はきちんと揃っているか？「足りなければ手配連絡を！」
11. 熱中症に向けて意識を高めよう「対策や有事の対応をおさらいしよう！」
12. 有事(災害や事故)が発生した場合は、必ず直近上位の現場責任者と会社へ連絡「本部にお客先から連絡が着て知ったのでは遅い＝印象が大変悪い」
13. 工事車両の退場時、キャビンの上や荷台の荷崩れしそうな資材は無いかよく確認「第三者災害の危険」

10月度の重点目標(三項目)

3．場内及び現場周辺道路等の清掃を定期的に行い美化に努める「きれいな現場では事故は起きない」
7．直近上位や元請様に、年齢関係なく親切丁寧な会話を誠意をもって対話する「良心は巡って帰ってくる」
12. 有事(災害や事故)が発生した場合は、必ず直近上位の現場責任者と会社へ連絡「本部にお客先から連絡が着て知ったのでは遅い＝印象が大変悪い」

②現状の作業工程等、気がついた事を報告してください。

～施工中物件～



③その他